

教育関係共同利用拠点による 教育改革シンポジウム

～食農環フィールド教育施設を用いた人材育成～

参加
無料

開催日

2013年

11月23日(土)

開催場所

県民文化センター鯉城会館

(サテライトキャンパスひろしま)

[広島駅から路面電車で約15分、紙屋町下車

広島バスセンターから徒歩3分 広島市中区大手町1-5-3]

第Ⅰ部 ポスターディスカッション

「教育関係共同利用拠点の取り組み」

12:00～13:00 15:00～15:30

第Ⅱ部 パネルディスカッション

「教育関係共同利用拠点における
人材育成機能」

13:00～17:00



主催：国立大学法人広島大学
共催：一般社団法人国立大学協会
<http://www.janu.jp/other/festa2013.html>

問合先：広島大学生物圏科学研究科運営支援グループ
電話：082-424-7903
sei-kyo-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

大学改革公開シンポジウム2013

教育関係共同利用拠点による教育改革シンポジウム

～食農環フィールド教育施設を用いた人材育成～

教育関係共同利用拠点制度が施行されてから4年目となりました。本制度では、大学の機能別分化の促進、大学間ネットワークの構築を進めるため、各大学が自らの強みを持つ分野へ取組を集中・強化するとともに、他大学との連携を進めることによって、大学教育全体としてより多様で高度な教育を展開していくことが期待されています。

現在、40拠点が文部科学大臣による認定を受け、内19件は練習船、農場、演習林および水産実験所といった農学系の附属施設が占めております。これは、附属施設関係者が長年に亘って取組んできたフィールド教育が、学生の行動力や主体的な学習態度を養う上で、優れた教育方法として広く認知されてきているためであり、学士課程教育全体へのより一層の活用が期待されます。各拠点による取組を通して、共通的な成果がある一方で、附属施設の種類によって教育内容や教育方法が異なり、得られる成果も多様であると思われま

す。この度、国立大学協会による支援を得て、本シンポジウムを企画いたしました。本シンポジウムでは、教育関係共同利用拠点制度による練習船、水産実験所、農場、演習林における認定状況や成果、今後の課題等について、関係者による報告と意見交換を行い、これからの学士課程教育の改革上、各種フィールド施設に求められている役割と機能を明らかにしつつ、拠点制度の望むべき方向性についても考えてみたいと思います。

第Ⅰ部 ポスターディスカッション

「教育関係共同利用拠点の取り組み」

12:00～13:00 15:00～15:30

- ★ 農場(東北大学, 宇都宮大学, 信州大学, 静岡大学, 広島大学, 宮崎大学)
- ★ 水産実験所(京都大学, 広島大学)
- ★ 練習船(北海道大学, 東京海洋大学, 三重大学, 広島大学, 長崎大学, 鹿児島大学)
- ★ 演習林(北海道大学, 新潟大学, 筑波大学, 静岡大学)

第Ⅱ部 パネルディスカッション

「教育関係共同利用拠点における人材育成機能」

13:00～17:00

- ★ 主催者挨拶 広島大学副学長 江坂宗春
- ★ 文部科学省挨拶 高等教育局専門教育課 課長補佐 小谷直和
- ★ 講演1「練習船拠点における人材育成機能」 全国水産・海洋系学部等協議会会長, 鹿児島大学教授 松岡達郎
- ★ 講演2「農場拠点における人材育成機能」 全国大学附属農場協議会会長, 宇都宮大学教授 居城幸夫
- ★ 講演3「演習林拠点における人材育成機能」 全国大学演習林協議会会長, 京都大学教授 吉岡崇仁
- (休憩: 15:00～15:30)
- ★ 講演4「共同利用拠点の利用者の立場から」 教育ネットワーク中国代表理事, エリザベト音楽大学学長 川野祐二
- ★ 質疑応答, 総合討論



日時: 2013年11月23日(土) 12:00～17:00

会場: 県民文化センター鯉城会館

(サテライトキャンパスひろしま)

広島市中区大手町1丁目5-3 電話: 082-258-3131

参加申込: 下記のメールアドレスに連絡ください。

問合先: 広島大学生物圏科学研究科運営支援グループ

電話: 082-424-7903

sei-kyo-sien@office.hiroshima-u.ac.jp